

JENESYS2016（派遣プログラム）

（派遣国：カンボジア/ 専門学生/ テーマ：ファッション）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラムの一環として、日本の専門学生および引率者計 23 名がカンボジアへ派遣され、日本の経済、産学、歴史、自然、文化に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、11月17日から11月25日までの現地8泊9日の日程でプログラムを実施しました。ファッションをテーマとし、カンボジア日本人材開発センターで行われたコスプレショーに出演、日本でトレンドのコスプレファッションを立派に披露し、観衆の関心を高めました。王立芸術大学では日本のファッションの伝統と進化、若者に人気のファッションについて発信、同分野への関心が高い現地大学生とファッション感、デザインの意義、その社会性と可能性等について有意義な討議、交流を行いました。プログラムを通して多くの刺激を受けた参加者は、各々の気づきや体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前報告会では、派遣地での気づきと経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）を発表しました。

【参加校・人数】

文化服装学院 23名

【訪問国】

カンボジア王国

2. 日程

11月17日（木）	【オリエンテーション】 成田空港より出発 — プノンペン着
11月18日（金）	【表敬訪問】カンボジア教育・青年・スポーツ省、日本国大使館 【ODA サイト視察】JICA 事務所/カンボジア日本友好職業訓練校服飾科
11月19日（土）	【歴史文化建造物・市内視察】王宮、国立博物館、国際 NGO Friends-International 運営レストラン、トゥールスレイン博物館、トルトンポンマーケット、他商業施設等（服飾関係）
11月20日（日）	【青少年交流】コスプレショー”COSPLAY COLLECTION 20 in PHNOM PENH”
11月21日（月）	【学校交流】カンボジア王立芸術大学
11月22日（火）	【ホームビジット】
11月23日（水）	【企業視察】Sui-Joh（日系アパレルメーカー） 【商業施設】AEON モール（NPO 法人 DREAM GIRLS Project 概要説明） 【ワークショップ】
11月24日（木）	【報告会】 プノンペン発
11月25日（金）	成田空港到着

3. プログラム記録写真

	
<p>11/18 【表敬訪問】カンボジア教育・青年・スポーツ省・教育大臣</p>	<p>11/18 【ODA サイト視察】JICA 事務所/カンボジア日本友好職業訓練校服飾科</p>
<p>【Courtesy Call】 Youth Department of Ministry of Education, Youth and Sport (MOEYS)</p>	<p>【Visit】JICA Office~Cambodia-Japan Friendship Skills Training Center (Dressmaking course)</p>
	
<p>11/20 コスプレショー ”COSPLAY COLLECTION 20 in PHNOM PENH” テーマ「ファッション」の発信と意見交換</p>	<p>11/21 カンボジア王立芸術大学 テーマ「ファッション」の発信と意見交換</p>
<p>【Youth Exchange Program】 Cosplay Event “Cosplay Collection 20 in Phnom Penh” at CJCC</p>	<p>【School Exchange Program】 Royal University of Fine Arts (RUFA)</p>
	
<p>11/22 ホームビジット</p>	<p>11/24 報告会</p>
<p>【Home Visit Program】</p>	<p>【Reporting Session】</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 学校法人 文化学園 文化服装学院 専門学生

カンボジアは現在目覚ましい経済的発展を遂げており、内戦の影響に屈せず前進する国民のエネルギーの強さを感じました。しかし、余りにも急速に経済が発展すると、いやおう無しにグローバル化の波が押し寄せ、制御できず飲み込まれてしまい、自国の重要な伝統や文化が失われてしまうのではないかと、一抹の不安を覚えました。その為、日本は今後の経済的支援だけでなく、教育や法の面でも、より一層のサポートをする必要があると考えました。

また、今回の訪問では、私たちが服飾の専門学生であるため、特にファッションとアートに関する文化交流を行いました。親日家の方が非常に多いにも関わらず、日本のファッションはあまり浸透しておらず、隣国のタイ、韓国のものが人気という事に驚きました。その理由として、韓国の音楽ドラマ等のポップカルチャーがメディア戦略により成功を収めている事があげられます。今後カンボジアの方々に日本のファッションを認知していただくためには、SNSを通してより裾野の広いポップカルチャーを発信し、親しんでもらうことが必要だと思われまます。その上で、世界的に評価の高い日本のファッションに触れていただくことで、カンボジアの豊かな資源、伝統との交わり、唯一無二の新たなファッションが生まれることを確信するとともに、そのサポートを続けたいと強く感じました。

◆ 学校法人 文化学園 文化服装学院 専門学生

カンボジアへ行くことができ、多くの貴重な体験をし、刺激を受けました。見ていないところで、貧しい地域があると思いますが、私が行った首都であるプノンペンには道路もコンクリートで、街には歴史、文化、宗教など色々なバックグラウンドのある建物や、多くの自然、温かい人々で溢れていました。韓国、タイなどアジアを中心に外国からの企業が多く入ってきていますが、カンボジア発祥の店がなかなか見当たらず、私が接した学生は、自国について多くの知識や誇りを持っていても、それを踏まえたブランドを発信するまでには至っていないという現実を知りました。

私たちは、カンボジア日本人材育成センター(GJCC)と王立芸術大学(RUFA)でコスプレショー、ファッションショーを行いました。日本のファッションはカンボジアにあまり浸透していなかったようで、皆さん、喜んでくださいました。クロマーという伝統的な万能布に対しても、現地の方はビジネスにつながるとは感じてはしないようなので、魅力的であるということに気づいてほしいと思いました。

日本のファッションを伝える際、幅が広い為、日本といたら「これ」という代表的なスタイルがないので難しいと感じました。ですので、映画、アニメ、PVを見ていただき、そこでファッションに興味を持ってもらい、日本のファッションを楽しんでほしいと思いました。この9日間で日本とカンボジアの両国の長所と短所を知ることができて良かったです。今後、より良い友好関係を築けたらと思います。

◆ 学校法人 文化学園 文化服装学院 専門学生

現地へ行き、肌で感じることは、とても大切だと思いました。インターネットで調べても分からなかったことが沢山あって、日本にいただけでは気づけないこと、日本がいかに恵まれているのかを知りました。表情や状況、環境などを共有しながら会話ができたことで、力

ンボジアの人たちの人柄の良さを知りました。とても優しく好奇心旺盛で会話をしていて楽しかったです。このプロジェクトがあったからこそ会うことができた人たちばかりで、一期一会を大切に、今後もまたどこかで会いたいと願っています。

私は、派遣団のリーダーを務めました。プレゼンテーションの内容や個性の強い21人をまとめるのは難しかったですが、様々な予定が近づくにつれて、一丸となって行動ができたことで、このプロジェクトを成功させることができました。今思えば、とても楽しく皆と意見交換ができ、貴重な体験をすることができました。私たちがプレゼンテーションをした後のカンボジアの学生の反応はとても良く、日本について沢山の質問をしてくれました。関心を持ってくれていると実感することができて、とても嬉しかったです。その反応を忘れずに、今後も日本について正しい情報を発信していこうと思いました。加えて、今回の JENESYS プログラムで設立した SNS サイトのアカウントを多くの人に知ってもらうことを今後の目標として、今回で終わらず、継続的な活動を続けていきます。

5. 受入れ側の感想

◆ 王立プノンペン大学 外国語学科 日本語専攻の学生

ファッションに関する彼らの経験をたくさん紹介してくれました。たくさん作品をつくっていて、男性用のパンツのデザインもできるそうです。日本語をゆっくりわかりやすく話してくれ、カンボジアの学生に対してとても親切でした。私たちに日本の文化や風習について教えてくれました。

プログラムに参加して、彼らの専門分野での経験をたくさん知ることができ、日常のファッションや、コスプレや制服など色々な場面での日本のファッションについて理解することができました。プログラムでは、日本とカンボジアの文化、風習を教えあうこともできました。またこのようなプログラムに参加したいです。

◆ 王立プノンペン大学 外国語学科 日本語専攻の学生

日本の学生との交流を通して、新しいことをたくさん学び、また見せてもらったものも素晴らしいかったです。日本の学生は芸術に対するセンスに優れ、またフレンドリーでおおらかで、また創造的で、彼らのプレゼンテーションは私たちカンボジア人に刺激を与えてくれました。再会できることを願っています。

彼らはファッションデザインの専門学生なので、特にファッションに関して刺激を受けました。多くの新しいこと知って感動し、また多くの成果を得ることができました。交流を通して、アイドルの話をして意見交換をしたり、お互いの国の情報交換をしたりして、彼らと仲良くなることができました。

◆ カンボジア王立芸術大学の学生

日本の方々はとてもフレンドリーで文化についてオープンに紹介してくれたので、色々学ぶことができました。また、プレゼンテーションをするときにどうやって雰囲気盛り上げるかをよく知っていると思いました。限られた側面からではありますが、日本文化の豊かさを知ることができ、日本のファッションの取り入れ方がわかりました。着物の着方を知り、着物が非常に美しく個性的だと思いました。

文化服装学院での勉強についても色々なことを話してくれました。また、料理やお菓子の話題などからも両国で様々な違いがあることを知って、私たちの日本に対する知識は広がりました。期待通り、日本人はとてもフレンドリーで魅力的で、日本やその豊かな文化についてもっと広い視点から知りたくなり、機会があれば日本にぜひ行ってみたいです。再会できることを願っています。

◆ カンボジア王立芸術大学の学生

日本の学生のプレゼンテーションやパフォーマンスは、とてもわくわくし、素晴らしかったです。昔のファッション、ファッションの歴史、日常のファッションなどすべてについて教えてくれ、着物など、見せてくれたものすべてが気に入りました。

また、欧米のファッションと融合させたものなども、私はそんなファッションを今まで見たことがなかったので、とても魅力的でした。

私の学校には色々なプログラムがあり大変満足していますが、このようなファッションのプログラムは今までなく、今回の交流プログラムが一番良かったです。

今回のプログラムから様々なことを学ぶことができ、このようなファッションに特化した交流プログラムがまた行われることを願っています。ありがとうございました。

6. 参加者の対外発信

	
<p>【テーマ：ファッション】 コスプレ・日本の若者の流行ファッションとトレンドをファッションショーと寸劇で発信。400人近くの現地同世代のコスプレイヤーやファッションに関心のある観衆の注目を集めた。</p>	<p>【テーマ：ファッション】 日本のファッション（歴史/伝統とモダンの融合）について、研究発表、ファッションショー実演を通して発信。王立芸術大学の同様分野で活躍する現地学生から多くの質問を受け、密度の濃い交流となった。</p>
<p>【Theme: Fashion】 at CJCC They performed latest cosplay, popular fashion show and trends popular among young Japanese people that attracted an audience of over 400 local young cosplayers and fashion lovers.</p>	<p>【Theme: Fashion】 at RUFA Presenting various aspects of Japanese fashion such as historical transition, traditional and modern clothing, fashion trends, etc. at RUFA, they enjoyed fruitful Q&A session and discussion about 'Design' with RUFA students.</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p style="text-align: center;">4.Our Plan</p> <p style="text-align: center;">Step1. From Cambodia to Japan</p>  <p style="text-align: center;">Twitter</p> <p style="text-align: center;">Instagram</p> <p style="text-align: center;">JENESYS プロフィール変更</p> <p style="text-align: center;">Jenesys2016文化服装学院</p>	<p style="text-align: center;">Step2. From Japan to Cambodia</p>  <p style="text-align: center;">WATCH JAPAN</p> <p style="text-align: center;">WATCH JAPAN</p> <p style="text-align: center;">Cambodian Fashion Show & Exhibition in Bunka Fashion College</p> <p style="text-align: center;">Cambodian Tailors with a Japanese pattern</p>
<p>【アクション・プランの発表1】 報告会の実施、SNS を活用してプログラムで得た気づき・経験を発信：テーマに沿って現地発信した日本の魅力・強み、また、カンボジア文化に関する関心等を発信、周囲と共有、広く認識してもらおう。</p>	<p>【アクション・プランの発表】 Facebook で情報発信（日本語と英語）： 今回のテーマ：ファッションのみならず、音楽、アニメ、ドラマ、ポップカルチャーや伝統文化等、最新の「日本の魅力・強み」を発信、参加者間の情報共有を促進する。</p>
<p>【Action Plan 1】 To disseminate their achievements by holding debriefing sessions and utilizing SNS in order to share what they learned and experienced from the program in Cambodia, such as good aspects of rediscovered Japan, various interesting aspects of Cambodia with as many people as possible around them.</p>	<p>【Action Plan 2】 To Create a Facebook page 'Watch Japan' to transmit more information in both English and Japanese in order to share latest information not only on Fashion, but also other traditional/pop culture of Japan, such as Anime, Drama, etc. and further promote communication among young people between both countries.</p>